

2017年度(平成29年度)

# 学校関係者評価報告書

2018年(平成30年)7月31日

学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

## 1. 学校関係者評価

### (1) 目的

- ①自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野別の関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

### (2) 定義

学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁等の学校関係者などを、学校自らが選任し、構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価

### (3) 評価者

学校と直接関係のある学校外の者を評価者とする学校関係者評価委員会、評価を行う「学校関係者」を選任する。

### (4) 評価方法

当該年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価することを基本とする。

#### 【ポイント】

- ・自己評価の結果の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか

### (5) 評価期間

2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）

### (6) 評価結果

- ①評価結果や今後の改善方策等について取りまとめて公表する。
- ②自己評価の改善方策の検討において活用、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善を図る。

## 2. 学校関係者評価委員会

(1) 日 時：2018年7月4日（水） 13:30-15:30

(2) 場 所：国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校（学校法人中村学園）1号館大会議室

(3) 参加者：学校関係者評価委員（及び学校事務局）

学校関係者評価委員会の構成

学校関係者評価委員 4名

（順不同 敬称略）

氏名	所属
原田 正隆	千葉市民活動支援センター センター長
船曳 勇一	株式会社千葉京成ホテル（京成ホテルミラマーレ） 取締役総支配人
山口 晋司	千葉都市モノレール株式会社 総務部総合調整担当部長
小亀 さおり	千葉市経済農政局経済部観光プロモーション課

学校事務局 5名

氏名	所属
矢口 博士	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 校長・本部長
瀧 潤一郎	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 国際事業本部長
足澤 永子	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 教務室長・副本部長
小園 達郎	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 就職室リーダー
檜崎 さやか	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 学務室リーダー

(4) 内 容：・学校関係者評価の目的

- ・自己評価に対する学校関係者評価
- ・意見交換

## 3. 評価

(1) 評価項目について、学校関係者評価委員が評価を行う。

評価：4：達成度80%以上、3：達成度60%以上、2：達成度30%以上、1：達成度30%未満

(2) 評価、意見、改善方策を記載する。

## 4. 評価項目

(1) 教育理念・目標

(2) 学校運営

(3) 教育活動

(4) 学修成果

(5) 学生支援

(6) 教育環境

(7) 学生の受け入れ募集

(8) 財務

(9) 法令等の遵守

(10) 社会貢献・地域貢献

(11) 国際交流

(12) 職業実践専門課程

(13) 観光・ブライダル分野における教育の質保証、特徴化に向けた取組

## 5. 評価項目の達成と改善方策

### (1) 教育理念・目標

評価項目		評価	意見・コメント
1	理念 目的 育成人材像	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	特になし
2		教育目標、育成人材像は、専門分野に関連する業界等の人材ニーズに向けて方向づけられているか	
3		学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	
4	特色ある教育活動 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3	
5	将来構想 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3	

項目評価（平均） **3.6**

#### 【改善方策】

・業界の動向やニーズ、国・地域の施策等の情報を広く集め、中長期の将来構想について検討の場を設ける。構想については教職員で共有する。

### (2) 学校運営

評価項目		評価	意見・コメント
1	運営方針	目的等に沿った運営方針が策定されているか	<p>・管理システムで特にネットワークを利用するものに関してどのように個人情報を守り管理していくのか問題である。</p> <p>・情報流失等が起こった場合、事後対応が非常に重要となってくる。学園として検討していくことが望ましい。</p> <p>・学生連絡システムについて、アプリのみではなくメールにも対応していることは評価できる（スマートフォン等を所持しない学生にも対応しているため）。</p>
2	事業計画	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	
3	運営組織	運営組織は文書等において明確化され有効に機能しているか	
4		意思決定プロセスは整備され機能しているか	
5		人事、給与に関する規定等は整備されているか	
6	コンプライアンス	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	
7	情報公開	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	
8	情報システム	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	

項目評価（平均） **3.6**

#### 【改善方策】

- ・情報公開方法については、内容の充実、閲覧者が容易にアクセスできるよう工夫する。
- ・情報システム化については、ニーズの把握、導入検証を行い、導入提案までの計画を立てる。
- ・安全管理については、マニュアル作成だけに留まらず、全職員が共有し、実動できるようシミュレーションを行う。

(3)教育活動

評価項目		評価	意見・コメント
1	目標の設定	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	特になし
2		教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
3	教育方法評価等	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	
4		キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	
5		関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラム作成・見直し等が行われているか	
6		関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	
7		授業評価の実施・評価体制はあるか	
8		職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	
9	成績評価単位認定等	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	
10	免許資格取得の指導体制	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	
11	教員教員組織	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	
12		関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなど取組が行われているか	
13		関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	
14		職員の能力開発のための研修等が行われているか	

項目評価（平均） **3.2**

【改善方策】

- ・段階的に全学科の実習先確保、企業開拓を進めていく。
- ・ICT教育の現況を調べ、より分かりやすい授業へ漸進的に取り組む。
- ・研修による到達目標を予め定め、実践的かつ社会ニーズを捉えた研修・セミナーに積極的に参加し、効果を測る。
- ・再評価については、単位認定基準に合わせて教育効果を確りと出せるようにより良い方法を検討し、学内ルールの見直しも行う。

(4)学修成果

評価項目		評価	意見・コメント
1	就職率	就職率の向上が図られているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生連絡システムを学校・卒業生の相互ツールとして利用し、縦のつながりを作るといい。</li> <li>・教育課程編成委員会に業界で働く卒業生が委員として参加しており卒業生の評価体制といえる。</li> <li>・学校側が予め日程を立て、年一回集まる機会を創出する。</li> <li>・留学生が増加している現状から、お国柄を意識した情報発信の仕組作りができると良い。</li> </ul>
2	資格・免許の取得率	資格取得率の向上が図られているか	
3	卒業生在校生の社会的評価	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	
4		卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	
5	評価目標	教育及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか	

項目評価（平均） **3.2**

【改善方策】

- ・検定についての啓蒙活動を更に行う。新しいものも含め学科で目指す資格・検定を見直し、取得に向けて、効果的な検定対策補講を行い、合格・取得率の向上を目指す。
- ・卒業生状況について効果的な把握方法・ツール等の模索を進める。

## (5) 学生支援

評価項目		評価	意見・コメント
1	就職等 進路	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	特になし
2	中途退学 への対応	退学率の低減が図られているか	
3	学生相談	学生相談に関する体制は整備されているか	
4		留学生に対する相談体制を整備しているか	
5	学生生活	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	
6		学生の健康管理を担う組織体制はあるか	
7		課外活動に対する支援体制は行われているか	
8	保護者 との連携	保護者との連携体制を構築しているか	
9	卒業生 社会人	卒業生への支援体制はあるか	
10		社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	
11	高校 との連携	高校・高等専修学校等との連携による キャリア教育・職業教育の取組が行われているか	

項目評価 (平均) **3.5**

## 【改善方策】

- ・メンタルヘルスへの対応としてスクールカウンセラーを設置しているが、保健室等の設備・人員配置は難しいため、近隣病院の一覧等を掲示し対応する。また、教職員が初期対応やAEDの利用方法等を受講、担当やマニュアル整備を進める。休憩室の整備美化に努める。
- ・各教職員の専門や担当が分かるよう座席表を作成し、相談体制をさらに強化する。

## (6) 教育環境

評価項目		評価	意見・コメント
1	施設 設備等	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語を理解しない留学生等に英語のインストラクションもあるとよい。</li> <li>・事前に内容を知らせないブラインド訓練を行い、緊急時の想定問答を行っている。</li> <li>・炊き出し、備蓄品を試すなど、防災意識を高めるのに効果的。</li> </ul>
2		学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	
3	学外実習 インターン シップ等	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	
4	防災 安全管理	防災に対する体制を整備し、適切に運用しているか	
5		学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	

項目評価 (平均) **3.0**

## 【改善方策】

- ・2018年度のパソコン入替に合わせ、通信環境の改善を図る。
- ・備品、施設管理については、安全・美化・効率の側面を意識し、担当はもとより学校全体で意識を共有し管理を行う。
- ・緊急連絡等の方法についても学生・教職員で共有・整備する。
- ・教職員のみで行う避難訓練等の実施を検討する。またマニュアルだけでなく、実動できる体制を整える。
- ・テーマパークの実習室については、より学修成果の得られる教室へと改善する。

## (7) 学生の受け入れ募集

評価項目		評価	意見・コメント
1	学生募集活動	高等学校等、接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	特になし
2		学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	
3		学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	
4	入学選考	入学選考基準を明確化し適切に運用しているか	
5	学納金	経費内容に対応した妥当な学納金であるか	
6		入学辞退者に対し、授業料等について適正な取り扱いをおこなっているか	

項目評価（平均） **4.0**

## 【改善方策】

- ・卒業生動向の調査を実施し、情報提供を行う。

## (8) 財務

評価項目		評価	意見・コメント
1	財務基盤	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	特になし
2	予算 収支計画	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	
3		予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	
4	監査	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか	
5	財務情報の公開	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	

項目評価（平均） **3.8**

## 【改善方策】

- ・2018年度より公開する計算書を新しいフォームに変更し、資金収支計算書及び貸借対照表に加え、事業活動収支計算書を公表する。

## (9) 法令等の遵守

評価項目		評価	意見・コメント
1	法令基準等の遵守	法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	特になし
2	個人情報保護	学校が所有する個人情報保護に関する対策がとられているか	
3	学校評価	自己評価の実施体制を整備し、問題点の改善を行っているか	
4		自己評価結果を公開しているか	

項目評価（平均）

3.3

## 【改善方策】

- ・プライバシーポリシーの見直しを行い公表する。
- ・自己評価の方法を改め、プロジェクトを立ち上げ組織的評価を進める。自己評価・学校関係者評価を学校運営の改善に具体的に活かしていく、プロセスを短期、中長期で方策を考え実行する。
- ・情報公開の方法についてもプロジェクトで検討を行い、ガイドライン及び多様な閲覧者視点に立った構成へと改善していく。

## (10) 社会貢献・地域貢献

評価項目		評価	意見・コメント
1	社会貢献 地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	・ボランティア活動の情報提供は進んで協力したい。
2		地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	
3	ボランティア	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	

項目評価（平均）

2.7

## 【改善方策】

- ・学校独自としてボランティア活動への積極的な参加や、情報収集を行う。
- ・公開講座等の実施は現実的に困難なため、会場の貸出し等を行い社会への貢献活動とする。

## (11) 国際交流

評価項目		評価	意見・コメント
1	留学生 受け入れ	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって行っているか	特になし
2		留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	
3	留学生 指導	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	
4		学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	

項目評価（平均）

3.8

## 【改善方策】

- ・入学定員を増やすことを検討する。
- ・日本での就職を希望する学生も多いことから、生活指導をより強化する。

## (12)職業実践専門課程

評価項目		評価	意見・コメント
1	企業等と連携した教育課程の編成	教育課程編成委員会は年2回開催され、委員構成及び人数は適切であるか	<p>・具体的な目標を掲げた上で、現状や課題を伝えていただくとより理解しやすい。</p> <p>・学生は企業実習に参加するが、最新動向を知るといふ点においては、教員も参加するの一手である。</p>
2		外部委員からの意見が教育課程等に反映されているか	
3	企業等と連携した実習・演習等の実施	学内における実習・演習の授業は知識や技術を向上させ、段階的指導を行っているか	
4		実習先の指導者と担当教員との緊密な連携体制はとれているか	
5		実習の事前教育を実施し、到達度の目標設定をしているか	
6		実習中における実習時間を管理し成績、評価、単位を適切に認定しているか	
7	企業等と連携した教員に対する研修	教職員に対し、専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を修得・向上するための研修を計画的に行っているか	
8		教職員に対し、授業及び学生に対する指導力等を修得・向上するための研修を計画的に行っているか	
9	企業等と連携した学校関係者評価の実施	学校関係者評価委員会の委員構成及び人数は適切であるか	
10		委員会は年間適宜開催され、会議運営は規程等に定めた目的に沿った内容となっているか	
11		学校関係者評価結果を公表しているか	
12		学校関係者評価結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めているか	
13	情報の公開・提供	ホームページにおいて学校運営、教育活動等に関する情報提供内容は適切か	
14		ホームページ、入学案内、パンフレット等の作成・配布、説明会等における説明など、恒常的に情報提供を行っているか	

項目評価（平均） **3.5**

## 【改善方策】

- ・研修については、学校、学科で業務分担、スケジュール調整を行い、参加しやすい環境を整える。効果を意識し、専門分野の指導力向上に繋がる研修の情報収集を行い積極的に受講する。
- ・自己・学校関係者評価についてすぐに対応できるものについては随時対応し、それ以外の項目についても中長期的な対応方法を検討する。



## (13) 観光・ブライダル分野における教育の質保証、特徴化に向けた取組

評価項目		評価	意見・コメント
1	教育体制	学科・学年に応じた教育目標を明確に設定し、学生等に周知しているか	特になし
2		常勤・非常勤を問わず、教育目標設定や授業運営方針について討議・報告する機会を設けているか	
3		全科目のシラバスを作成・整備し、年間授業計画に基づいた授業運営を行っているか	
4		基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、課題を解決するために必要な思考力の育成に取り組んでいるか	
5		学校行事の主旨が明確で、専攻分野に沿った特色ある行事を計画・運営を実施しているか	
6	特色ある教育	観光業界・ブライダル業界に対応した語学を修得できるカリキュラムが構成されているか	3
7		接客及び対人関係に必要なコミュニケーション能力育成のカリキュラムが構成されているか	4
8		企業実習教育に付随して、事前教育や事後の振り返りを行う教育機会を設けているか	4
9		関係する業界人や卒業生を招聘したキャリア教育、キャリア指導を定期的実施しているか	4
10		業務上必要とされるPCスキルや情報モラルを教育する科目を設置しているか	4
11		外国人留学生の受入態勢を整備し、専門知識、技術、日本文化、風習などを習得する教育カリキュラムを構成しているか	4
12	学習成果	専攻分野に関連する資格検定の取得を奨励し、検定試験受験対策のための学内指導体制は整備されているか	4
13		学生の学業成績や功績、社会貢献等に対して、学校としての報奨制度等を用意しているか	4
14		産学連携を通じた教育活動が、業界の理解を深められているか	3
15		学生アンケートや授業アンケート等を実施し、意見や結果を学生指導や授業改善に反映しているか	3

項目評価 (平均) **3.7**

## 【改善方策】

- ・各種アンケートの質問項目の精査、結果の活用方法等を検討する。授業改善アンケートで結果が芳しくない科目に関しては、面談や授業見学を実施し、改善していく。学園生活アンケート結果は会議等で共有し検証の場を設ける。
- ・学科内で1年、2年それぞれの教育目標を確認し、講師会議で非常勤講師を含め、到達目標の説明を行い協働して達成を目指す。

## 7. 総評

学校は、財務状況も安定しており、施設・設備、教育内容の改善も図られ充実している。災害、不審者侵入といった非常時の対応、また学生への連絡手段で利用しているネットワークセキュリティの管理など、“学生を守る”ということも重要課題と捉えてさらに努力してほしい。この委員会もスタートしてから5年。評価方法も見直され、設定→実行→検証→改善というPDCAサイクル機能も増してきている。